

こうちょう おも 校長の念い



ず せいさくしゃ
図 制作者
ぶんげい しょうぶ
文芸・書道部
ねんぶんげい ぶいん
3年文芸部員

じぶん みらい よ ほっこう か
自分と未来を、より良い方向に変えていこう！

あす いちがつき しゅうりょう
明日で一学期が終了します。今年度の生活様式ですが、4月1日からマスクの着脱が個人
の判断となり、5月8日には、新型コロナウイルス感染症が「2類相当」から「5類」に
移行しました。その結果、4年ぶりに、関東方面への修学旅行や職場体験学習、体育館で全
校生徒を集めての生徒総会や壮行会を実施しました。今後は、赤ちゃん抱っこ体験や合唱コ
ンクールなどを行う予定です。しかし、新型コロナウイルス感染症は現在増加傾向なので、
夏休み中も気を抜かず、「うつさない・うつらない」ための行動をしてください。

ところで、一学期の始業式に、「相手の立場に立ち、感じて、思いやりの心で行動しよう！」
という念いを伝えましたが、この念いにつながるような作文の発表を聞きました。坂井地区
社明運動作文コンクール優秀賞、本校2年生の坪田実莉さんの作文「助け合いの大切さ」で
す。「自分が何かをすれば周りは助かり、周りの人が何かをかえしてくれれば自分も助かる。」
この一文が印象に残りました。お互いの助け合いが、明るい社会を作るためには必要です。

「思いやり」について調べたところ、ACジャパン制作のCMを2つ見つけました。

おも さん 思いやり算

た す (+) .. たすけあう
ひ く (-) .. ひきうける
かける (×) .. 声をかける
わ る (÷) .. わけあう (いたわる)

み きも 見える気持ちに

- 「ころ」はだれにも見えないけれど、「ころづかい」は見える。
- 「思い」は見えないけれど、「思いやり」はだれにでも見える。

さて、22日から38日間の夏休みが始まります。そこで、第6回目の「念い」は、「自分と
未来を、より良い方向に変えていこう！」です。大学教授のキャロル・S・ドウエックさん
は、挑戦できるとき、困難が生じたとき、努力が必要なとき、批判されたとき、他人の成功
を感じたときという5つの状況のときに、どのように考えるかが重要だと言っています。

挑戦	できれば挑戦したくない。 ➡ 新しいことに挑戦したい。
困難	壁にぶつかったらすぐにあきらめる。 ➡ 壁にぶつかっても耐える。
努力	努力は忌まわしい。 ➡ 努力は何かを得るために欠かせない。
批判	ネガティブな意見は無視する。 ➡ 批判から真摯に学ぶ。
他人の成功	他人の成功を脅威に感じる。 ➡ 他人の成功から学びや気づきを得る。

この5つの状況における考え方を、常に意識して、夏休みに成長してください。

※参考文献 2016 キャロル・S・ドウエック マインドセット「やればできる!」の研究 草思社